

一般医療機器 弾性ストッキング 31724000

スーパーソックススパイラル着圧

【警告】

1. 適用対象

以下の患者には予想されるリスクを勘案して、治療効果がリスクを上回ると判断した上で慎重に使用して下さい。

1) 深部静脈血栓症の患者

[肺動脈血栓塞栓症を発症する危険性があるため]

2) 動脈血行障害、うっ血性心不全、または装着部位に炎症性

疾患、化膿性疾患、創傷のある患者

[症状を悪化させる危険性があるため]

3) 装着部位に神経障害のある患者

[血行障害を起こしても認識できない危険性があるため]

4) 糖尿病患者

[無症状の神経障害や血行障害を併発する危険性があるため]

5) 繊維に対して過敏症のある患者

[接触性皮膚炎を起こす危険性があるため]

【品目仕様等】

各サイズの中心の方が装着したときの平均圧迫

- ・足底部 24～30hPa
- ・足首部 18～22hPa
- ・ふくらはぎ部 12～14hPa
- ・ふくらはぎ部圧迫圧<足首部圧迫圧

【操作方法又は使用方法等】

1. 装着前(サイズ選定)

- 1) 足首及びふくらはぎの周囲長(cm)を測定して下さい。
- 2) 足首とは膝から下の脚部で最も細い部位、ふくらはぎとは膝から下の脚部で最も太い部位になります。



- 3) 上記の数値により、以下の採寸表から正しいサイズを選んで下さい。
- 4) ふくらはぎないし足首サイズが2サイズにまたがる場合は大きいサイズを選んで下さい。

足底サイズ	21-23	23-25
ふくらはぎ	28-34	32-38
足首	17-21	19-23

2. 装着時

- 1) 本品の中に右手を入れて、「かかと」をつかんで下さい。
- 2) 右手で「かかと」をつかんだまま、左手で「つま先」が隠れるまで本品を裏返していきます。
- 3) 本品が裏返されて生地が二重になったのを確認してから、左右の親指で、二重になった生地を横方向に押し広げて、「つま先」から挿入して下さい(下の図①)。
- 4) 「かかと」まで挿入したら、位置を微調整して、ぴったりと「かかと」を装着させて下さい(下の図②)。
- 5) 「つま先」方向にある本品の「ロゴム」を左右の指でつかみ生地を反転させて表返しつつ、均等に「ふくらはぎ」まで引き上げて下さい(下の図③)。



3. 装着後(装着中)

- 1) 装着後に、つま先やかかとが正しい位置にあること、生地にしわやねじれがないこと、ロゴム部が内側に折り込まれていないことを確認して、適時、微調整を行って下さい。

【禁忌・禁止】

1) 重度の血行障害、うっ血性心不全、または有痛性青股症の患者

[圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため]

2) 感染性静脈炎の患者

[深部静脈への感染を引き起こす危険性があるため]

3) 装着部位に極度の変形がある患者

[適切な圧迫圧が得られないため]

4) ふくらはぎと足首が本品の採寸表の範囲にない患者

[各部位に過剰ないし過少な着圧がかかることになり、適切な圧迫圧が得られないため]

【形状、構造及び原理等】

1. 概要

本品は糸が筒状に編み上げられた形状です。弾力性のある糸により、末梢部から中枢部にかけて圧迫力が漸減する構造です。

2. 組成

ウール糸、ポリウレタン糸、ナイロン糸

3. 形状及びサイズ

膝下ハイソックス

足底サイズ21～23cm、23～25cm

【使用目的、効能又は効果】

本品は下肢の静脈血のうっ滞を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の弾性ストッキングです。末梢部(足底部)から中枢部(ふくらはぎ部)に向って漸減的に圧迫を加える機能を有しています。

【使用上の注意】

1. 使用注意(以下の患者には慎重に適用して下さい)

- 1) 術後等患者の意識レベルが低い場合及び患者との意思疎通が困難な場合には患者の状態をよく観察して使用して下さい。
- 2) ギプス、外傷等により装着部位が長時間不動状態にある患者は、潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性があるため注意して使用して下さい。
- 3) 本品の使用により、脚に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前には感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止して下さい。

2. 重要な基本的注意

- 1) 本品は弾性ストッキングに精通した術者が、必ず装着者に使用方法を説明し、正しい装着手順で使用を開始して下さい。また、患者との意思疎通が困難な場合には、看護、介護介添えする方に使用方法を説明して下さい。
- 2) 適正な圧迫圧を得るため、装着部位の規定箇所を必ず測定して、正しいサイズの本品を選択して下さい。サイズ範囲外の場合には使用しないで下さい。
- 3) 腫脹の軽減等により装着中に各部位の周囲長が変わった場合には、適切なサイズに変更して下さい。
- 4) 本品は繊維製品ですので、破損(伝線、ほつれ、破れ等)がないことを確認してから着用して下さい。
- 5) 圧迫圧の過不足を防ぐため、たるみやしわのないように装着して下さい。本品が、装着中にたるんだり、しわが寄ったり、ずれ落ちたり、誤った位置に装着されている場合には正しく装着し直して下さい。
- 6) 適切な圧迫圧が得られなくなるおそれがありますので、本品を折り返して着用しないで下さい。
- 7) 本品をはさみで切るなどの加工、修理等の改変をしないで下さい。
- 8) 本品は個人用の製品であり、他人への使いまわしをしないで下さい。

3. 相互作用

- 1) 間欠的空気圧迫装置等、他の圧迫療法と併用する場合は、本品単独装着時より高い圧迫圧が加わるため、本品が正しく装着されていることを十分確認し、適時、本品及び皮膚の状態を確認して下さい。
- 2) 軟膏などの薬品や油脂、溶剤等が生地に付着すると繊維が劣化するおそれがありますので付着させないで下さい。

4. 不具合・有害事象

本品の使用により、以下の有害事象がおこる可能性があります。

1) 重大な有害事象

- ① 血行障害
チアノーゼ、腫脹、疼痛、しびれ、皮膚の冷感や足指の爪の変色等の血行障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行って下さい。
- ② 神経障害
腓骨神経麻痺、知覚・運動障害等の神経障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行って下さい。
- ③ 皮膚障害
・本品のずれ、圧迫等により、皮膚潰瘍等の皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行って下さい。
・急性循環不全等末梢循環が不安定な患者に使用した場合、装着部位に血行障害が発生し壊疽などの皮膚障害が起こる可能性があるため、装着部位の血流に注意して下さい。

2) その他の注意事項

本品装着部位に、発赤、水泡、かゆみ、発疹、かぶれなどの皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行って下さい。本品を脱いだ後で皮膚障害が現れる場合もあるので、同様に適切な処置を行って下さい。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

本品は、高温多湿や直射日光を避け、室温で、水に濡れないように注意して保管下さい。

【保守・点検に係る事項】

1. 繰り返して使用する場合は、破損(伝線、ほつれ、破れ等)や繊維の劣化等がないことを確認してから使用して下さい。
2. 洗濯する場合は、中性洗剤で手洗いして下さい、なお、ドライクリーニング・漂白剤・アイロン・タンブラー乾燥は使わないで下さい、直射日光を避け陰干しして下さい。
3. 洗濯機を使う場合は必ず洗濯ネットに入れて下さい。

【包装】

1足(2枚)入り/袋

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

【製造販売業者】

岡本株式会社
〒635-8550 奈良県北葛城郡広陵町大字大塚150番地の1
TEL 0745-55-2730

【製造業者】

岡本株式会社 奈良工場
〒635-8550 奈良県北葛城郡広陵町大字大塚150番地の1

【連絡先】

岡本株式会社 お客様相談室
TEL 0120-551-975

(NHSK-02)